

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	入居者様の急な行動に「座ってください」「立たないでください」等、言ってしまう職員がいる。転倒等を懸念してのことではあるが、スピーチロックも身体拘束であるということを理解してもらう必要がある。	スピーチロックを含む身体拘束をゼロにする。	入居者様がどうしたいのか、何をしたいのかを尋ね、理解できるように派遣職員を含む職員の育成に取り組み、研修を定期的に行っていく。また、職員のストレスを溜めないような環境づくりを行う。	12ヶ月
2	12	前年度にくらべると半減したが、派遣職員が5名在籍し、直接雇用の職員に責任等を含むいろいろな負担がかかっている。	職員の定着・安定を目指す。一人でも多く直接雇用の職員を獲得し、一人でも多く派遣職員を減らしたい。	法人へ現在の状況を繰り返し訴え、理解してもらい職員の増員をお願いする。法人が外国人技術実習生を受け入れ始めたため、当施設でも受け入れを検討していく。	6ヶ月
3	35	避難訓練は行っているが、エレベーターが動かせない時に、階段を昇降できない入居者様を実際にどう誘導するかが、不透明なままである。	入居者様の安全を守る。	BCPの策定をしっかりと行い、避難誘導の機材等の導入を検討していく。また、火災は絶対に起こさない様、コンセント周りの定期的な掃除を行っていき、異常を早期発見できるよう徹底する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。